

令和6年度 第1回 橋本市生活交通ネットワーク協議会 議事録

1. 開催日時

令和6年6月12日(水) 午後3:00~4:00

2. 開催場所

橋本市東家一丁目6番27号 橋本市民会館 1階ギャラリー

3. 出席者(27名)

会長

辻本 勝久 (和歌山大学経済学部 教授)

副会長

渋田 年男 (橋本市身体障害者連盟 顧問)

委員

堀川 憲一 (橋本市老人クラブ連合会 会長)

乾 幸八 (橋本市区長連合会 会長)

廣岡 慶三 (橋本市区長連合会 副会長)

山本 るみ (橋本市女性会議 会長)

平野 耕造 (橋本商工会議所 会頭)

岡崎 悦也 (高野口町商工会 会長)

森下 伸吾 (橋本市議会 議長)

南出 昌彦 (橋本市議会 総務経済委員長)

中井 睦 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官)

川村 昌光 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官) 【代理出席】

芹川 至史 (西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社 副支社長地域共生室課長兼務) 【代理出席】

和田 純一 (南海りんかんバス株式会社 取締役社長)

平岡 明義 (橋本第一交通株式会社 所長)

木村 泰雄 (南海りんかんバス株式会社 従業員代表)

藤本 昇三 (橋本市民病院事務局総務課 課長)

山崎 淑枝 (国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 道路管理第一課長)

岩本 吉継 (和歌山県伊都振興局建設部 部長)

西前 克彦 (橋本市建設部 部長)

森田 清幹 (かつらぎ警察署 署長) 【代理出席】

大畑 敦義 (和歌山県地域振興部地域政策局総合交通政策課 課長) 【代理出席】

小原 秀紀 (橋本市 副市長)

井上 稔章 (橋本市総合政策部 部長)

久保 雅裕 (橋本市健康福祉部 部長)

三浦 康広 (橋本市経済推進部 部長)

豊田 英三 (一般社団法人 和歌山県タクシー協会 会長)

説明員

梶部 鐘繁 (高野町富貴支所 係長)

欠席委員

松田 良夫	(橋本市社会福祉協議会 会長)
辻本 淳二	(南海電気鉄道株式会社 橋本駅長)
川村 昌彦	(有鉄観光タクシー株式会社 取締役社長)
尾保手 正成	(橋本警察署 署長)
森下 清司	(公益社団法人和歌山県バス協会 専務理事)
西村 芳通	(一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会 専務理事)

事務局

前川 朋久	(橋本市総合政策部地域振興室 室長)
森田 育子	(橋本市総合政策部地域振興室 室長補佐)
稲葉 正浩	(橋本市総合政策部地域振興室 主任)
阪上 雄大	(橋本市総合政策部地域振興室 主査)

4. 開会

事務局より新任の委員の紹介を行った。

その際、中井委員より公共交通の本質、不採算の公共交通、これら課題や問題に全員で取り組んでいくという気持ちで臨みたい等意見があった。

5. 会長あいさつ

辻本会長が開会あいさつを行った。

6. 会議資料

令和6年度第1回橋本市生活交通ネットワーク協議会 次第

橋本市生活交通ネットワーク協議会 委員名簿

資料1 橋本市コミュニティバス利用実績

資料2 橋本市デマンドタクシー利用実績

資料3-1 運賃等の協議について

資料3-2 橋本市生活安全ネットワーク協議会条例改正(案)

資料4 橋本市生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)(案)

乗合タクシー「夢たまごハイランドタクシー」の運行ルート変更について

参考資料 地域公共交通の「リ・デザイン」とは(和歌山運輸支局)

参考資料 社会資本整備総合交付金概要パンフレット(和歌山運輸支局)

参考資料 カーシェアリング社会実験について(和歌山河川国道事務所)

7. 報 告

協議会規定に基づき、会長が議長となる。

(1) 橋本市コミュニティバス・デマンドタクシーの利用状況について

【事務局】資料 1 こちらは令和 5 年度のコミュニティバス利用状況です。コミュニティバスの利用者数前年比は東部線が 284%、西部線が 118%、東西幹線が 129%、北部線が 98%となり、全体で 157% (8,464 人増) となった。

年間の収支率 (運賃収入 / 運行経費) は東部線 23.5%、西部線 18.4%、東西幹線 20.2%、北部線 12.2%となり、3 路線で運行継続基準となる 15%を達成した。過去に行ったダイヤ改正やルート変更の成果が徐々に数字に表れ、順調に利用者数を伸ばしている。

資料 2 こちらは R5 年度のデマンドタクシーの利用状況です。デマンドタクシーについては、昨年恋野線と谷奥深線を新設したので、その 2 路線を除いた利用者数が前年比155% (791人増)、運賃収入は 167% (138,100 円増)。とこちらもバス同様大幅に増加した。以上報告です。

【会長】 今の報告内容について、何か質問はありませんか。
非常に調子がいいということで嬉しく思います。

【大畑委員代理川端委員】

コミュニティバス利用者が大幅に増えていることで東部線だと約 3 倍ぐらいの伸びとなっているが、具体的にどんな要因が考えられるか教えていただけたらと思います。

【事務局】 まずダイヤについて、早朝の時間帯にバスが走るようになり、通勤、通学に使ってくれる人が以前より増えたと聞いている。東部線は橋本駅からあやの台までのルートで、前年までは恋野を経由して大きく回っていたが、国道 24 号線を通るルートに変更されたことで、利用客の増加に結びついたと思っている。恋野地区についてはコミュニティバスの代わりにデマンドタクシー路線を新設したことによって多くの方がデマンドタクシーを利用いただいているという状況です。

【会長】 北部線だけが伸びていないのはどういう理由があるかわかりますか。

【事務局】 北部線については、紀見地区を中心に運行しており、他に民間のバス路線が通っているため、基本的にはそちらを利用していると思われる。また、北部に向かっては南海電車があるので、そちらも多く利用されていると思われる。また、北部線だけが橋本駅に乗り入れしないので、その点も影響していると思います。

(2) 橋本市生活交通ネットワーク協議会条例の一部改正について

【事務局】資料 3 - 1 本件は道路運送法の改正に対応するために橋本市の条例改正を行います。改正前は、地域公共交通会議で運賃の協議もあわせて行ってきたが、独占禁止法の観点から、改正後は、運賃に関する協議はネットワーク協議会とは別に協議する場を設けなければならないこととなった。

資料 3 - 2 改正後の橋本市生活交通ネットワーク協議会条例案です。第 2 条第 1 項の記載から運賃・料金に関する記述を削除し、第 9 条に運賃協議については運賃専門部会を設置する内容を追加している。なお、本件は条例改正となるため庁内で内容を精査した上で、9 月議会に上程し、議決後に施行予定です。以上報告です。

→意見無し、承諾

8. 議題

(1) 橋本市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）（案）について【議題】

【事務局】資料4 毎年本協議会で承認いただいているフィーダー系統確保維持計画です。

昨年度からの追加点としては、項目 11 から記載しているコミュニティバスの老朽化に伴う新車購入部分です。運用開始から 10 年を経過し、早急な買い替えが必要となっていることから、現在運用している車両と同じ日野自動車製のポンチョを車両減価償却費等国庫補助金を利用して、令和 6 年度中に 2 台を 4,400 万円で購入予定です。費用負担については、1 台につき 1500 万円上限の 2 分の 1 が国からの補助金となるので 2 台で 1500 万円。残り 2,900 万円については市で負担することを予定していますので本協議会で承認後、9 月議会で予算要求していく予定です。

このほか変更となっているのは事業目標の数値です。以上説明となります。

【中井委員】昨年度、補助金の認定申請された際の 7 年度の計画と変更なしでよろしいですか。要するにもともと運行の計画をしていたものから何も変わらないで良かったか、それと今年度は 7 年度 8 年度 9 年度の申請をしていただくのですが、暦が変わって運行回数がそれで変わる程度であって確保する交通の系統であったり考え方は変わらないかという事だけ確認させてください。

【事務局】令和 7 年度の事業内容や考え方に変更はございません。

【中井委員】表の 1 と表の 5 は機械的に数値等入れていただいて、表の 6 も車を買う数も記載されているので機械的に入れるだけだと思いますから、事務局の方で記載をお願いしたいと思います。6 月 28 日が最終期日となっておりますのでそれまでの提出をお願いします。

【会長】このほかご意見ございませんか。無いようでしたら中井委員からご指摘あった点について追加の上で国に提出するという事でよろしいでしょうか。

→承認

(2) 高野町夢たまごハイランドタクシーの運行ルート変更について【議題】

【事務局】橋本市生活交通ネットワーク協議会条例第 10 条に基づき高野町より職員にお越しいただいておりますので、本件についてご説明いただいでよろしいか。

【会長】はい、必要なことだと思いますのでご説明をお願いします。

【高野町職員】資料5 まず初めに高野町に関する案件ですが、本協議会にお招きいただきましたこと、また委員のみなさまの貴重な時間を頂きます事、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。ありがとうございます。ご審議いただく高野町公共交通夢たまごハイランドタクシーですが、2011 年 3 月 31 日まで高野町の富貴地区まで運行していた奈良交通バスの廃止に伴い、現在高野町富貴筒香地区から橋本市を通り、奈良県五條市の五條イオン前までの区間を運行しています。今回のルート変更は、地域の住民の皆様と話し合いをする行政報告会や、利用者アンケートで多く要望があった、橋本駅への乗り入れが中心となる変更です。富貴筒香地区の生活を支える唯一の公共交

通となりますので、皆様のご審議の程よろしくお願いいたします。

現行のルートでは筒香地区を通り富貴、そして橋本市の芋生、あやの台南口、隅田駅前、五條病院、五條イオン前、を通っています。今回の変更案ですが、筒香を通り、富貴、芋生、そして橋本駅前、あやの台南口、終着の五條イオン前というルートを検討しています。県道山内恋野線、垂井西交差点から国道 24 号西へ入り、西へ進みまして古佐田 2 丁目交差点を国道 24 号から橋本市市道橋本駅前幹線の方へ入っていく形になります。

橋本駅前のロータリーに乗り入れ予定で、バス停の位置については、協議会の方で承認されたのちに、橋本市、J R 西日本等関係者と協議をし、既存のバス等に影響が無いような形でバス停の設置をさせていただけたらと考えています。

時刻表についても、現在、筒香、富貴、高野町の区間につきましてはバス停のところで手を挙げてもらって乗車できるフリー乗降区間で運行しています。橋本市、五條市の町外の区間については、降車のみ又は、乗車のみで運行しています。仕組みに変更はなく、運賃も変更なしで検討しています。

奈良県五條市の、五條病院の現在の路線、バス停についてはともに休止と考えています。

隅田駅前の停留所も休止と考えています。ご審議の程よろしく申し上げます。

【芹川委員代理久木原委員】

2 つほどお願いがございます。1 つ目にバス停の位置については用地所有者も含めご確認いただきたい。2 つ目にお客様への周知のために本件が承認され実行にうつすとなった場合はバスの運行時刻等共有いただきたい。以上です。

【高野町職員】バス停の位置につきましては、関係者と協議をさせていただいて影響のないところで運行させていただけたらと思います。またお客様、住民の皆様への周知というところも地域の回覧であったり、タクシー内への掲示という事も含めて多く利用していただけるような形で運行していきたいと思っています。

【会長】そのほか何か意見ございますか。なければ J R 西日本様からの意見にご対応いただくことを含んだうえで、認めていただけるということでよろしいですか。

➡承認

(3) その他

和歌山河川国道事務所よりカーシェアリング事業について説明があった。

【会長】地域のことや地域交通事業者のこともよくお考えになっていただいたうえでの社会実験としていただけますように、今後ご検討いただけると幸いです。よろしく申し上げます。せっかくの機会ですので、他にご発言になりたいこと等ございませんでしょうか。

【豊田委員】タクシー業界では、運賃の値上げをさせていただくときに地域の消費者とも懇談させていただきまして、生活路線としてのタクシーをしっかりと確保していくというお約束のもとに運賃の値上げをさせていただきました。その甲斐あってか運転手の収入も安定してきまして、我々の方も賃上げしているという状況です。その中で、カーシェアリングやライドシェア等についてはできるだけ地域の運営に役立てるようにはしていきたいと思っています。橋本市生活交通ネットワーク協議会の参加メンバーを見ますと、様々な立場の方がいらっしゃいますので、「こんなあったら

便利だな」だけでなく我々も一生懸命やっていますので一緒に組み上げていければという風に思っております。安易に地域にライドシェア等で大手が参入して便利だなと言っても、撤退されてしまうこともありますので、撤退された後に交通空白地にならないように、様々な生活圏が脅かされることのないようなまちづくりを推進するのが、私も大事ななと思っています。交通の不便なところがありましたら、事務局を通して我々の方にもお声がけくださいましたら、ともに交通問題に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

【会長】 どうもありがとうございました。今後の協議会の進め方としましても、みんなで一緒になってより良い交通ネットワークを作っていきたいという内容で理解しております。私からもぜひ皆様にご協力をお願いしたいと思います。他にございませんか。

【芹川委員代理久木原委員】

本日は、国交省の補助金の申請もありましてバスの話も多かったと思うのですが、弊社の環境も含めた発言をさせていただけたらと思います。国鉄が民営化されてからの和歌山線の利用状況を言いますと、王寺から和歌山間は、4割弱利用が減っているという状況です。その中で、和歌山線沿線の自治体5市町と和歌山県、JRと一体になって和歌山線活性化検討委員会というもの組織し、橋本市さんも参画いただいて活性化に向けて動いているところです。昨年度の取り組みで橋本駅のスペースを学生に利用していただきやすい、明るいスペースに改装して、たくさんの方にご利用いただいていると聞いています。今年度も新しい企画にチャレンジすると聞いていますので、またそういったところで何か地域の事業者さんにもお願いすることもあるかと思うのですが、ぜひ和歌山線の活性化に向けて皆様のご協力を賜ればと思いますので何卒よろしく願いいたします。

【会長】 ありがとうございます。JRさんの近況というところご発言いただきました。取り組みとして橋本駅のスペースを改装されたとのことで、こういった取り組みも皆様全体で利用推進して応援していきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。ほかによろしいでしょうか。無いようですのでこれで議事終了とし、事務局へ進行をお返しします。

【事務局】 最後にこちらはお知らせとなりますが、運輸支局中井様より地域公共交通のリ・デザインについての資料を提供いただいておりますので、のちほどご覧ください。

9. 閉会

渋田副会長が閉会のあいさつを行った。